

経営比較分析表（令和5年度決算）

和歌山県 みなべ町

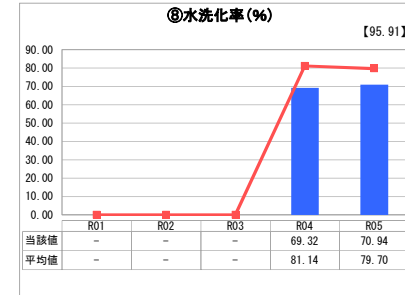
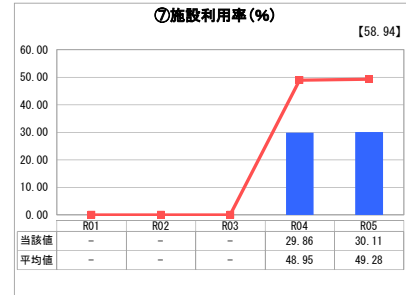
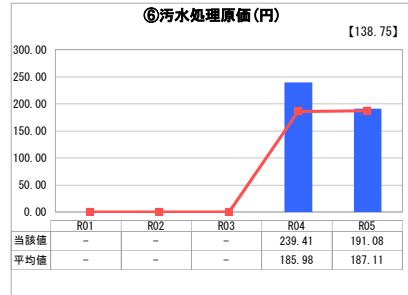
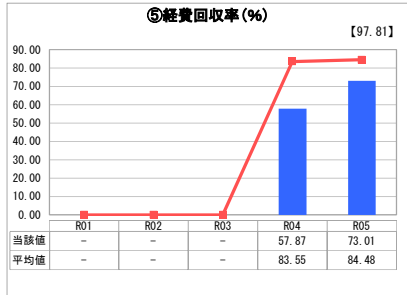
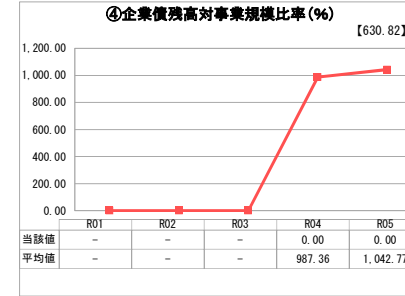
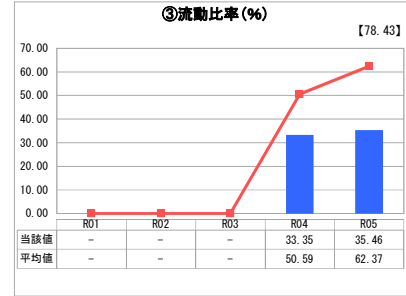
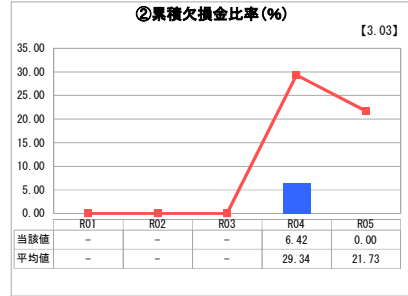
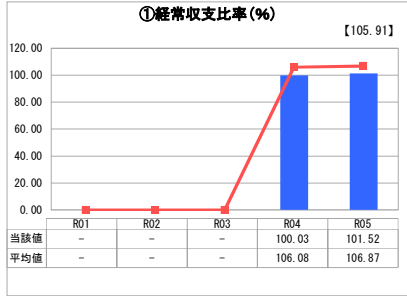
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	公共下水道	Cc2	自治体職員
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	53.70	81.29	100.00	2,750

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
11,767	120.28	97.83
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
9,483	2.88	3,292.71

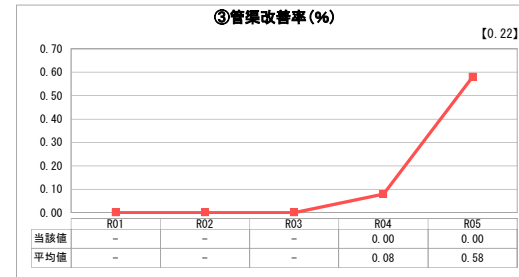
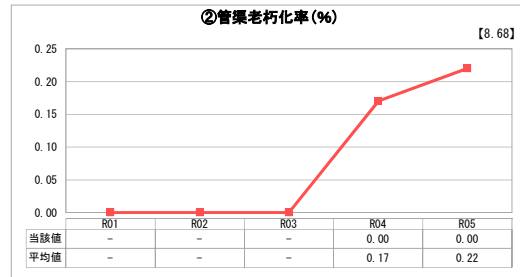
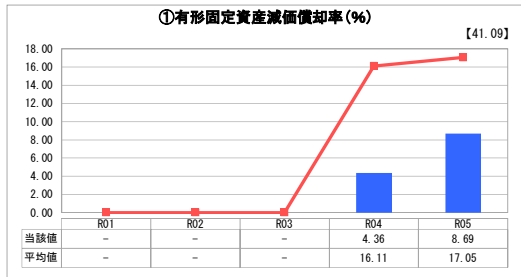
グラフ凡例

- 当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)
- 【】 令和5年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

収支比率については100%を超え黒字を確保したが、類似団体平均より下回った。昨年度に発生した累積欠損比率は、法適用企業初年度で特別損失が発生したことによるもので、令和5年度は0となっている。流動比率は昨年度に比べ多少高くなったものの、依然として平均を大きく下回っており、多額の借入金や他会計繰入金に依存している状態である。経費回収率についても、昨年度に比べ多少平均に近づいたが、本来100%であるべきところを大きく下回っており、これは多額の企業債償還額が原因である。汚水処理原価は平均を超えたものの、昨年度より低くなっている。施設利用率は昨年とほぼ同様で非常に低くなっている。水洗化率については多少の増加が見られ、令和3年度の整備が完了してから数年のため、今後も多少増加する見込みである。

2. 老朽化の状況について

固定資産については修繕や更新を行っており、現在は健全な状況にあると考えられるが、今後は耐用年数を経過した施設の更新が必要となる見込であり、計画的な管理を行わなければならない。

全体総括

資産については健全な状況にあるが、施設や管路への過大投資により、企業債残高が使用料収入に対し多額となっているため、会計的には繰入金に頼る他なく厳しい状況である。今後は水洗化率向上に努めるほか、使用料改定の検討や、施設更新の妥当性の検討など、経営改善に向け長期的な計画を練る必要がある。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。